

# 平成20年度決算概要



## 1. 全会計について

平成20年度の益子町の全会計の歳入総額は12,412,953,766円、歳出総額は11,555,554,420円で、歳入歳出差引額は857,399,346円となっており、平成19年度決算額と比較しますと、歳入は290,971,574円(△2.3%)、歳出は618,894,017円(△5.1%)とそれぞれ減額し、差引額では327,922,443円(61.90%)の増額となっております。

単位:円、%

会計名		平成20年度決算額	平成19年度決算額	増減額	増減率
一般会計	歳入	7,540,633,420	6,673,313,431	867,319,989	13.0
	歳出	6,866,520,823	6,344,801,301	521,719,522	8.2
	差引額	674,112,597	328,512,130	345,600,467	105.2
国民健康保険特別会計	歳入	2,655,530,862	2,719,220,045	△63,689,183	△2.3
	歳出	2,534,037,574	2,588,192,012	△54,154,438	△2.1
	差引額	121,493,288	131,028,033	△9,534,745	△7.3
老人保健特別会計	歳入	257,687,328	1,796,328,006	△1,538,640,678	△85.7
	歳出	230,368,091	1,747,325,989	△1,516,957,898	△86.8
	差引額	27,319,237	49,002,017	△21,682,780	△44.2
後期高齢者医療特別会計	歳入	138,823,255	0	138,823,255	皆増
	歳出	137,423,482	0	137,423,482	皆増
	差引額	1,399,773	0	1,399,773	皆増
介護保険特別会計	歳入	1,062,500,723	1,009,902,768	52,597,955	5.2
	歳出	1,040,956,084	998,194,724	42,761,360	4.3
	差引額	21,544,639	11,708,044	9,836,595	84.0
公共下水道事業特別会計	歳入	614,508,980	404,838,914	209,670,066	51.8
	歳出	608,386,807	399,143,269	209,243,538	52.4
	差引額	6,122,173	5,695,645	426,528	7.5
農業集落排水事業特別会計	歳入	143,269,198	100,322,176	42,947,022	42.8
	歳出	137,861,559	96,791,142	41,070,417	42.4
	差引額	5,407,639	3,531,034	1,876,605	53.1
合計	歳入	12,412,953,766	12,703,925,340	△290,971,574	△2.3
	歳出	11,555,554,420	12,174,448,437	△618,894,017	△5.1
	差引額	857,399,346	529,476,903	327,922,443	61.9

\*平成20年度決算書が、役場・中央公民館・改善センター・あぐり館に備えてありますのでご参照ください。

## 2. 一般会計決算概要

平成20年度の一般会計の歳入総額は7,540,633千円、歳出総額6,866,521千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は674,112千円となりました。

形式収支から翌年度に繰り越すべき財源380,692千円を控除した実質収支は293,420千円の黒字となっており、このうち200,000千円を財政調整基金に積み立てし、残額は平成21年度への繰越金としております。また、単年度収支については、前年度の実質収支額を下回ったことにより9,419千円の赤字となっており、実質単年度収支は、93,671千円の繰上償還等を行っていることにより、145,624千円の黒字となっております。

財政状態を示す財政指標のうち経常収支比率は80.3%と前年度から10.3ポイント好転しました。これは、町税（法人町民税）の増加によるところが大きく影響しておりますが、これは一時的なものであり再び経常収支比率の悪化が予測されます。公債費比率についても13.8%で前年度から0.2ポイント好転しています。

平成20年度末の地方債の残高は、6,951,890千円で前年度末より521,015千円減少しました。しかしながら、この金額は歳入の0.92倍に相当し、依然高水準にあることに変わりはありません。これは地方交付税の代替措置である臨時財政対策債の発行によることが大きな要因です。

一方、財政調整基金残高は、前年度から261,372千円増加し753,795千円となりました。これは財政計画に基いた歳出削減により、剰余金の積立額の増加、基金の取崩しがなかったことによりです。しかしながら、財政の健全化の維持のためにもさらなる積立を図っていく必要があります。

歳入のうち自主財源は3,554,773千円、自主財源比率は47.1%となっており、前年度と比較しますと額で448,510千円の増、率では14.4ポイントの増となっております。また、依存財源は3,985,860千円で52.9%、前年度対比で418,810千円の増、率では11.7ポイントの増となっており、これは、町税の増加（前年度比481,728千円増）と町債の減少（前年度比92,863千円減）によるものです。

歳出のうち消費的経費は6,016,498千円で、前年度対比288,646千円（5.0%）の増となりました。内訳としては、人件費及び繰出金等が減少し、積立金、補助費等及び公債費等が増となっております。投資的経費は850,023千円で、前年度対比233,074千円（37.8%）の大幅な増となっており、これは、町土地開発基金からの買戻しにかかる経費の増によるものです。



平成20年度の主な事業

● 障害者扶助	273,203 千円
● 老人扶助	34,274 千円
● 民間保育所入所運営	427,446 千円
● 児童手当	179,440 千円
● こども医療費助成事業	50,332 千円
● 芳賀中部上水道団企業団補助金	40,342 千円
● 芳賀台地土地改良事業負担金	59,847 千円
● 道路改良・舗装・修繕工事	51,913 千円
● 北公園整備	169,659 千円
● 幼稚園育成事業	22,704 千円



平成20年度一般会計歳入歳出決算

(単位:千円、%)

歳 入			歳 出		
区 分	金 額	構成比	区 分	金 額	構成比
<b>○ 自主財源</b>	<b>3,554,773</b>	<b>47.1</b>	<b>○ 消費的経費</b>	<b>6,016,498</b>	<b>87.6</b>
町 税	3,019,534	40.0	人 件 費	1,273,171	18.5
分担金及び負担金	136,141	1.8	物 件 費	540,029	7.9
使用料及び手数料	49,426	0.7	維 持 補 修 費	32,348	0.5
財 産 収 入	7,500	0.1	扶 助 費	1,022,563	14.9
寄 附 金	1,611	0.0	補 助 費 等	1,245,669	18.1
繰 入 金	141,478	1.9	公 債 費	979,885	14.3
繰 越 金	128,512	1.7	積 立 金	250,579	3.6
諸 収 入	70,571	0.9	投資・出資金及び貸付金	55,950	0.8
<b>○ 依存財源</b>	<b>3,985,860</b>	<b>52.9</b>	繰 出 金	616,304	9.0
地 方 譲 与 税	113,192	1.5	<b>○ 投資的経費</b>	<b>850,023</b>	<b>12.4</b>
利子割交付金	11,171	0.2	普通建設事業費	831,310	12.1
配当割交付金	3,550	0.0	災害復旧事業費	18,713	0.3
株式等譲渡所得割交付金	2,071	0.0	失業対策事業費	0	0.0
地方消費税交付金	196,663	2.6			
ゴルフ場利用税交付金	83,101	1.1			
自動車取得税交付金	57,904	0.8			
地方特例交付金	29,585	0.4			
地 方 交 付 税	1,836,285	24.4			
交通安全対策特別交付金	2,537	0.0			
国 庫 支 出 金	847,805	11.2			
県 支 出 金	466,659	6.2			
町 債	335,337	4.5			
歳入合計	7,540,633	100.0	歳出合計	6,866,521	100.0



### 3. 国民健康保険特別会計決算概要

平成20年度の国民健康保険特別会計の歳入総額は2,655,530千円、歳出総額は2,534,037千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は121,493千円となりました。このうち61,000千円を財政調整基金に積立し、残額は平成21年度への繰越金としております。前年度と比較しますと歳入は63,689千円（2.3%）、歳出は54,155千円（2.1%）とそれぞれ減額となっております。これは、歳入で、国民健康保険税が123,301千円、療養費給付費等交付金が191,736千円減少し、歳出において、保険給付費が63,517千円、老人保健拠出金が346,993千円それぞれ減少したことによるものです。



なお、保険税の収納率は67.3%で前年度から4.4ポイント悪化しました。

### 4. 老人保健特別会計決算概要

平成20年度の老人保健特別会計の歳入総額は257,687千円、歳出総額は230,368千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は27,319千円となりました。前年度と比較しますと歳入は1,538,640千円（85.7%）、歳出は1,516,958千円（86.8%）とそれぞれ大きく減少しております。これは、後期高齢者医療制度に移行されたことによるものです。



### 5. 後期高齢者医療特別会計決算概要

平成20年度からスタートした後期高齢者医療特別会計の歳入総額は138,823千円、歳出総額は137,423千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は1,400千円となりました。歳入の主なものは、後期高齢者医療保険税97,252千円で歳入の70.1%、一般会計からの繰入金41,513千円で歳入の29.9%を占めています。歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金134,499千円で歳出の97.9%を占めています。

なお、保険税の収納率は99.6%となっています。

## 6. 介護保険特別会計

平成20年度の介護保険特別会計の歳入総額は1,062,501千円、歳出総額は1,040,956千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は21,545千円となりました。前年度と比較しますと歳入は52,597千円（5.2%）、歳出は42,762千円（4.3%）とそれぞれ増額となっております。これは、歳入で国庫支出金が18,540千円、支払基金交付金が18,849千円増加し、歳出で保険給付費が56,431千円、地域支援事業費が6,048千円増加したことによるものです。

なお、保険料の収納率は99.3%で前年度から0.1ポイント減少しました。



## 7. 公共下水道事業特別会計

平成20年度の公共下水道事業特別会計の歳入総額は614,509千円、歳出総額は608,387千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は6,122千円となりました。前年度と比較しますと歳入は209,670千円（51.8%）、歳出は209,244千円（52.4%）とそれぞれ増額となっております。これは、繰上償還に伴う公債費が増加（247,160千円）したことによりま

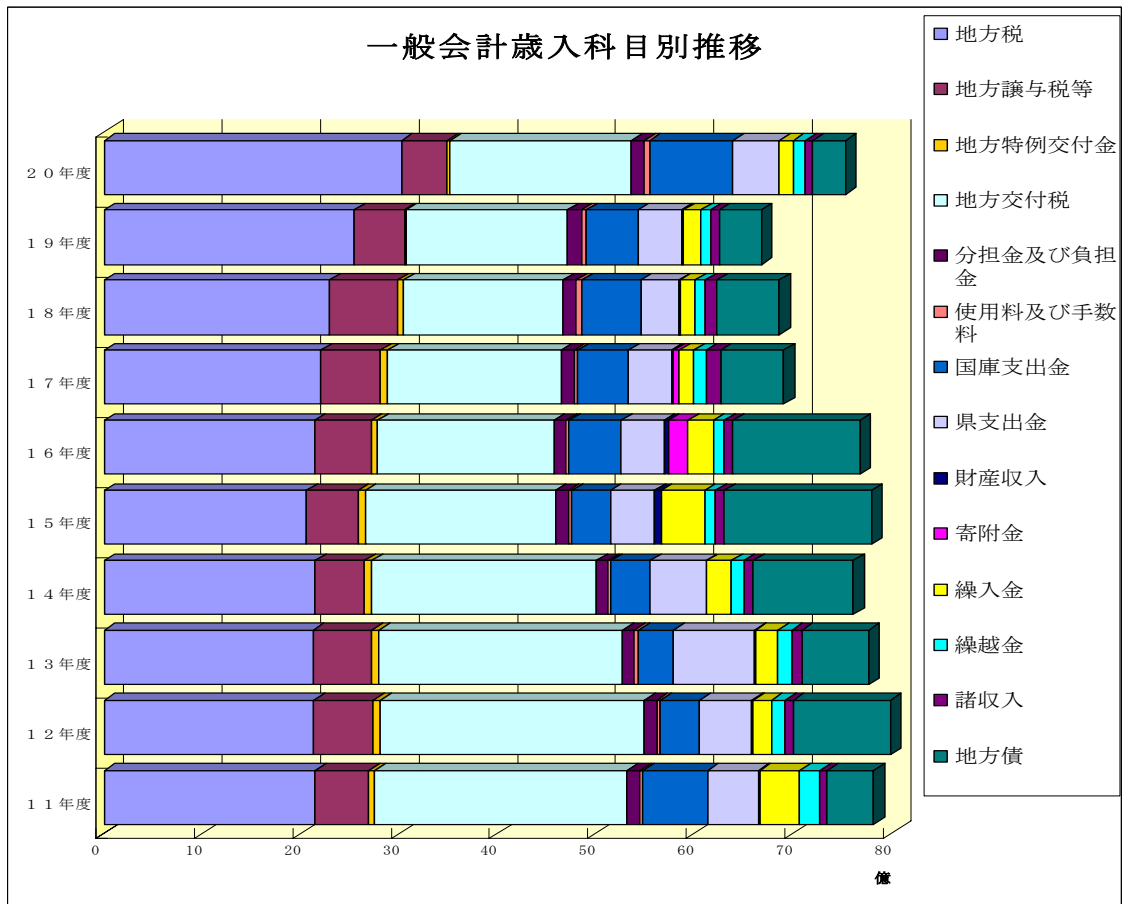
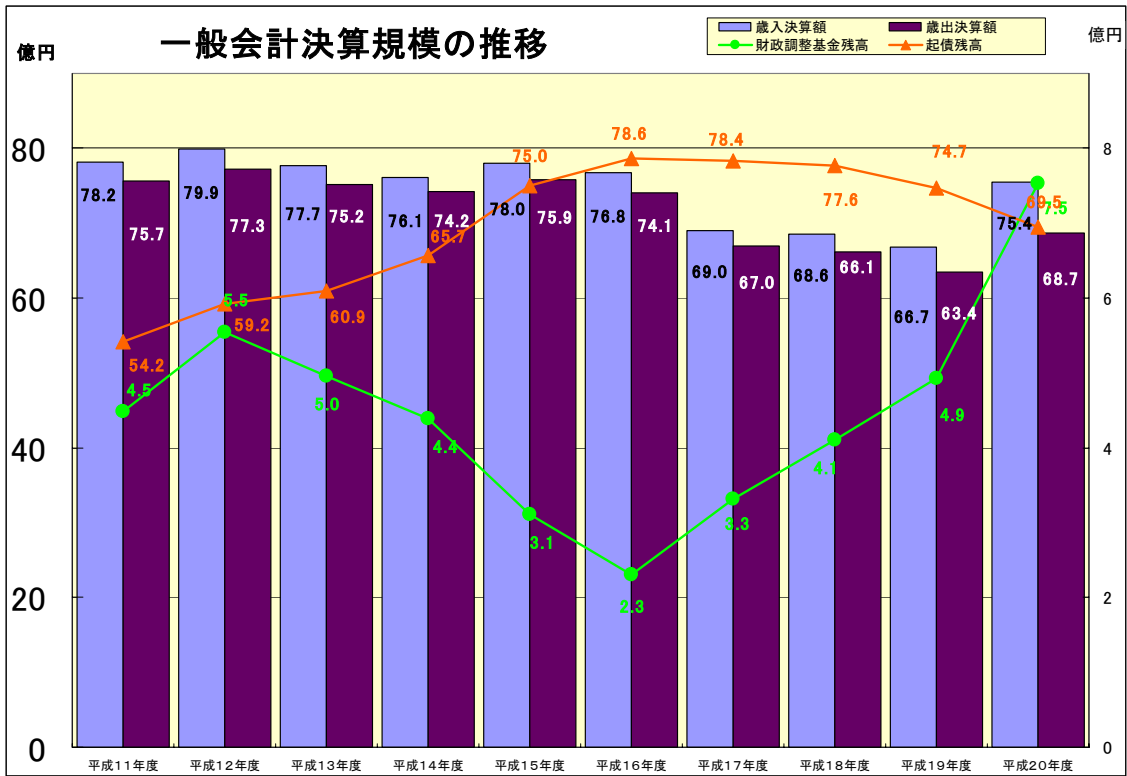
す。なお、水洗化率は72.5%で前年度より2.4ポイント増加しました。



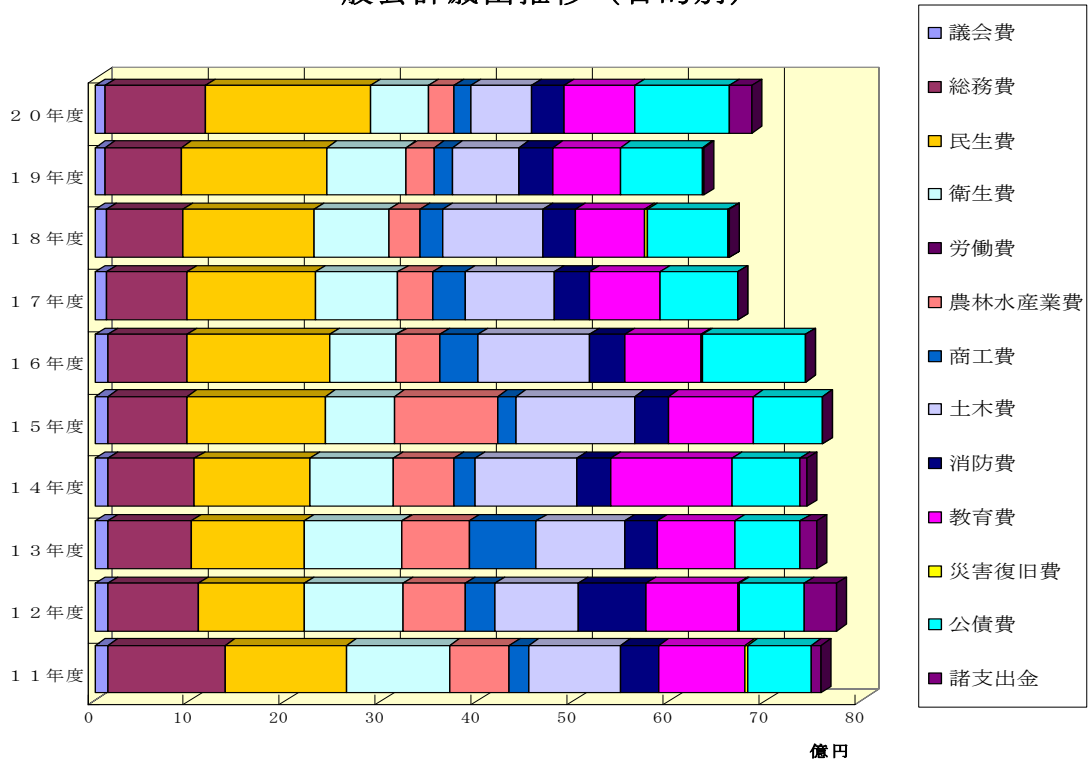
## 8. 農業集落排水事業特別会計

平成20年度の農業集落排水事業特別会計の歳入総額は143,269千円、歳出総額は137,861千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は5,408千円となりました。前年度と比較しますと歳入は42,947千円（42.8%）、歳出は41,071千円（42.4%）の増加となっております。これは、繰上償還に伴う公債費が増加（44,302千円）したことによりま





一般会計歳出推移（目的別）



一般会計歳出推移（性質別）

